

京都府入札監視委員会（令和3年度第4回）議事概要

開催日時及び場所	令和4年2月4日(金) 午後3時～午後5時 御所西京都平安ホテル 白河の間					
出席委員氏名(職業)	委員長 安 保 嘉 博(弁護士) 委員 宇 野 伸 宏(京都大学大学院工学研究科教授) 委員 金 尾 伊 織(京都工芸繊維大学工芸科学部教授) 委員 末 松 千 尋(立命館大学総合科学技術研究機構客員教授) 委員 山 下 信 子(弁護士)					
議 事 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ(井関入札課長) 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)入札及び契約手続の運用状況等について (2)抽出案件に関する入札経緯等について (4)次回抽出委員の選出等 (5)次回開催日程の調整 5 閉会 					
審 議 対 象 期 間	令和3年8月1日～令和3年11月30日					
審 議 対 象 件 数	[工事]	451件	[物品]	172件	[プロポーザル]	43件
内 訳	一般競争入札	418件	162件			
	指名競争入札	24件	2件			
	随意契約	9件	8件		43件	
抽 出 案 件		4件	1件		1件	
委員からの意見・質問 とそれに対する回答等	意見・質問		回答等			
	別紙のとおり		別紙のとおり			
委員会意見の内容	<p>○抽出案件に関する入札経緯等について</p> <p>委員会において、具申すべき特段の意見等はない。</p> <p>なお、各委員から出された意見・質問について、今後の入札契約執行の参考にするとともに、「公契約大綱」に基づいた取り組みを進められるよう努力願いたい。</p>					

4 議事

(1) 入札及び契約手続の運用状況等について

意見・質問	回答等
○特になし	

(2) 抽出案件に関する入札経緯等について

①大野発電所水車軸受改良等（水潤滑化）工事・大野発電所発電機オーバーホール等
工事 …一般競争

意見・質問	回答等
○1回目に中止にした際の参加者1者と、2回目の1者入札での落札業者は同一業者か。	○そのとおりである。
○入札可能業者数が11者いたのにも関わらず、申請者が1者しかいなかったが、この理由は何か。	○契約後に受注者をヒアリングしたところ、業界全体として技術者等が不足であることや、自社製品の工事で手一杯である、といった事情のようである。
○1回目の入札を、申請者が1者のため中止したが、2回目の入札実施にあたり、入札参加資格要件等を見直したのか。	○1回目の入札公告時に入札参加資格要件を機械器具設置工事又は電気工事とし、配置予定技術者についても同様に機械器具設置工事又は電気工事に緩和した結果、入札参加可能業者数が11者に拡大された。2回目の入札実施にあたっては、難易度の高い工事で品質を確保するためにはこれ以上の緩和が難しいと判断され、1回目と同様の資格要件とした。
○落札者は、当初、本設備を導入した業者と同一業者か。	○そのとおりである。
○特殊機器を扱う他の工事における入札参加状況はどうか。	○新設工事では複数の入札参加があるが、既設の修繕工事では当初の設置業者が施工することが多い傾向である。
○特殊機器の修繕工事は元々の設置業者しか参加しないというような状況ならば、入札を行う	○地方自治法では一般競争入札を基本としており、随意契約は政令に定められた場合に適用が

意見・質問	回答等
意味があるのか。	できるものである。本件の場合、機器等の見積において数者から回答があったことから、一般競争入札が妥当と判断した。今後とも、競争性がより高まるよう取り組んでいきたい。

②令和3年度府営農村地域防災減災事業川口地区電気設備改修工事

…一般競争

意見・質問	回答等
<p>○参加可能業者数が62者もいるが、なぜ1者しか参加がなかったのか。</p> <p>○工期に無理があったということであれば、今後改善すべきである。また、参加可能業者62者のうち1者しか参加がなかった時点で、一度入札を中止し、要件等を見直すことも必要だったのではないかと考える。</p> <p>○今回の受注業者は、当初の施工業者と同じか。</p> <p>○既存設備の改修は、当初設置時の図面等があっても施工面で色々と困難を伴い、工程的に厳しいこともあると思うが、新規の施設なら工期に余裕を持って施工できるのか。</p>	<p>○推測であるが、工期の設定が厳しかったのではないかと考えている。また、後日受注者へヒアリングを行ったところ、本工事は電気工事だが、土木工事や鋼構造物工事など他工事との調整が必要になるため、参加を見送った業者も多いのではないかとの見解であった。</p> <p>○既存施設の施工業者とは違い、新規の業者が受注している。</p> <p>○本工事は、設備を全て取り替える工事であり、その点では工程的に問題はない。</p>

③重要文化財 本隆寺本堂ほか2棟保存修理工事（本堂石工事）

…指名競争

意見・質問	回答等
○1回目の実施時に入札者全てが最低制限価格を下回り失格となっているが、積算に誤りがあったのか。	○予定価格の算出にあたって、歩掛の設定が各参加者の見込みよりやや大きなものとなっていた可能性が考えられる。

意見・質問	回答等
<p>○2回目についても失格者が2者いるが、失格理由は。</p> <p>○失格となった2者は、わずか2千円下回っただけであり、結果だけを見るともう少し制限価格を下げることはできなかったのか。</p>	<p>○落札者を含む3者が下限を狙った応札をしたと思われ、2者は最低制限価格をわずかに下回り、失格となったもの。</p> <p>○文化財としての修繕を適切に施工するという観点で、算出式に基づき最低制限価格を設定しており、これを下回った場合は失格となる。</p>

④伏見留置センター空調設備更新工事

…随意契約

意見・質問	回答等
<p>○故障した空調設備は何年間使っていたものか。</p> <p>○契約時期が真冬でもなく、空調がなくても直ちに問題のない時期であったと思うが、本当に緊急性があったのか。</p> <p>○使えるものはなるべく長く使うという考えかもしれないが、自由競争を確保するという観点からも、耐用年数を過ぎた段階で、随意契約以外の契約方法で、余裕を持って工事を行うことも検討いただきたい。</p> <p>○当該空調設備に限らず、定期的に故障する設備は多々あると思うが、契約やその方法を見直すなど組織的に計画性をもって取り組むべきである。</p>	<p>○当該施設新築時の15年前から使っていた。</p> <p>○入札を実施し、さらに工事期間を踏まえると2, 3箇月を要し、厳冬期に間に合わないこと及び当該施設の特殊用途を踏まえ、緊急の随意契約の締結に至ったものである。</p> <p>○当該施設における空調設備については、令和5年度予算で要求し、更新予定であった。今後、可能な限り耐用年数を考慮した早期更新を検討していきたい。</p>

⑤京都府海洋調査船

…一般競争

意見・質問	回答等
<p>○調査船というと、ただの漁船ではなく、特殊なサンプリング機器などを搭載しているのか。</p>	<p>○海水の塩分濃度や温度を測定するような機械やソナー等を積んでいる。</p>

意見・質問	回答等
<p>○特殊な機器を別で調達する方法もあるかと思うが、船ごと一括で購入することにメリットはあるのか。</p> <p>○予定価格と落札金額に開きがあるが、品質・施工体制の確保に問題はないのか。</p> <p>○何年スパンで調達をしているのか。 また、現在の稼働率はどれくらいか。</p> <p>○調査船の必要性などは理解できたが、まだまだ府民への周知が行き届いていないと感じるため、府民への広報など周知活動を強化していくことが必要である。</p>	<p>○機器については、船本体に穴を開けたり建造時に造り込みで設置するものが主になるため、一体のものとして発注している。</p> <p>○施工管理を別途専門機関に委託しており、また航行には国の検査が必要なため、問題はない。</p> <p>○現在の船は調達から約24年経過している。 法定耐用年数は9年となっており、これを超えているが、数年に一度検査が必要であり、航行の安全性は確保されている。 稼働状況については年100日程度である。</p> <p>○府海洋センターの施設公開において、海洋調査船への乗船体験などを行っているが、さらに広報に努めたい。</p>

⑥行政事務支援システムにおける職員ポータルシステムの更新ソフトウェア

及び運用保守業務

…随意契約（プロポーザル）

意見・質問	回答等
<p>○ウイルスや第三者の侵入により機能が停止し、再構築に多額の費用を要するなどの事例もあると思うが、そういった場合、契約の中で責任の所在などは確立されているのか。</p>	<p>○本件では、事業者に過失が認められる場合を除き、ウイルスやマルウェアなどの侵入の多くはインターネット回線からの侵入になると考えられる。 インターネット接続に関しては、京都府や府内市町村が共同で運営するシステムを構築して別の事業者へ委託しており、そのシステムを経由したウイルス侵入については、その委託契約における責任の所在として考えていくことになる。</p>

意見・質問	回答等
<p>○結果は1者参加となっているが、他に参加の見込みがあった企業はどれくらいあるのか。</p> <p>○1者しか参加がなかった理由は。</p>	<p>○公募型プロポーザル方式については、地域要件などを定めず、広く参加者を募るという方針で公募しており、事前に参加可能業者を把握することは難しいが、説明会には他の企業の参加があったため、複数の参加を見込んでいたものの、結果的に1者の申請にとどまったものである。</p> <p>○コロナ禍で、システムの新設に必要な技術者などの人手が不足しているため、参加者が現契約で技術者を確保している当該1者となってしまったものと推測している。</p> <p>今後、更新などでプロポーザルを実施する際は、複数者の参加があるよう工夫したい。</p>